

環境政策の前進で社会変革を グリーン連合が発足！

6月5日(金)10時30分から衆議院議員第二議員会館において、全国の環境系NGO/NPOの結集をめざすグリーン連合の設立総会&シンポジウムが開催され、市民ら約140名が参加しました。

●後退する環境政策に危機感

グリーン連合設立の背景には、4年前の東京電力・福島第一原子力発電所メルトダウン事故以降における環境政策の後退があります。復興と経済成長優先の政策ばかりが先行し、環境政策が置き去りにされた原因のひとつに、国内の環境系NGO/NPOが結集せず、大きな力を発揮できていないことがあるのではないかと。NPO法人環境文明21主催のシンポジウムでの結論を受けて、呼びかけ人方式による設立準備委員会が立ち上がり、設立に至りました。総会当日までに、65団体がグリーン連合設立に賛同しています。

総会では、中下裕子さん(ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議)を議長に、藤村コノエさん(NPO法人環境文明21)から設立趣意の説明、枚本育生さん(NPO法人環境市民)から規約(案)・予算(案)について提案がありました。

●社会への影響力を高めたい

設立趣意の説明では、「設立趣旨書」が読み上げられました。グリーン連合が後退する政府の環境政策への危機感から、環境NGO/NPOのパワーアップを図ることで、政府、自治体、企業、メディア、市民社会等に対する社会的影響力を強化し、もって民主的で公正な持続可能な社会を築くことを目的に設立されることが紹介されました。その上で参加団体の満場の拍手を受けて設立が宣せられました。



<グリーン連合幹事> (50音順)

- ・大久保規子 (オーフス条約を日本で実現するNGOネットワーク)
 - ・太田 航平 (NPO法人地域環境デザイン研究所 ecotone 代表理事)
 - ・佐藤 潤一 (一般社団法人グリーンピースジャパン事務局長)
 - ・篠原ゆり子 (FoE Japan 総務部長)
 - ・枚本 育生 (NPO法人環境市民代表)
 - ・中井八千代 (容器包装の3Rを進める全国ネットワーク副運営委員長)
 - ・中下 裕子 (NPO法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議事務局長)
 - ・伴 英幸 (NPO法人原子力資料情報室共同代表)
 - ・藤井 絢子 (NPO法人菜の花プロジェクトネットワーク代表)
 - ・藤村コノエ (NPO法人環境文明21共同代表)
 - ・古瀬 繁範 (NPO法人地球と未来の環境基金理事長)
 - ・松原 弘直 (NPO法人環境エネルギー政策研究所主席研究員)
 - ・三木由希子 (NPO法人情報公開クリアリングハウス理事長)
 - ・桃井 貴子 (NPO法人気候ネットワーク東京事務局長)
 - ・山崎 求博 (NPO法人足元から地球温暖化を考える市民ネットエドがわ副代表理事)
 - ・山田 岳 (ただすのもり環境学習研究所)
 - ・山本 耕平 (NPO法人雨水市民の会代表)
- <監事> 橘高真佐美 (弁護士・虎ノ門法律経済事務所)

規約説明では、正式名称を「グリーン連合」(英語名:green alliance japan)とすること。主な事業として、①持続可能な社会づくり政策、環境政策の立案・提案、②環境NGO/NPOの組織基盤強化の提言とその実現、③環境NGO/NPOのアドボカシー力向上のサポート、④市民版環境白書の発行など情報発信、⑤全国交流集会の開催や国際交流、⑥政策決定者、メディア記者、事業者、研究者との交流、⑦他分野のNGO/NPOとの連携を行っていくこと。会員は、環境問題の解決に取り組む市民団体(法人格有無は問わず)で、総

会議決権あり幹事に立候補できること。年間予算額別に会費を負担すること。個人は、議決権の無いサポーターとして支えてもらうことなどが説明され、拍手で了承されました。役員には、設立準備段階から関わった呼びかけ人など17名が幹事となり、幹事の中から、中下さん、藤村さん、枚本さんの3名が共同代表、事務局長に古瀬繁範さん(NPO法人地球と未来の環境基金)が就任しました。また、顧問およびアドバイザーをお願いすることになりました。

設立記念シンポジウム 会場からあふれる参加者！



●知る・参加する・チェックする

設立総会の後、記念シンポジウムを開催しました。まず、記念講演として大阪大学大学院法学研究科教授の大久保規子さんから「環境立国への道～なぜグリーン連合が必要なのか」と題してお話いただきました。

1992年に開催されたりオ世界サミットでは、「環境問題の解決にはすべての人々の参加が不可欠」とする原則が示されました。環境 NGO/NPO は、個々の力をつなげ、対案を提示し、環境政策を改善する存在として有効ですが、大規模な組織は少数です。ヨーロッパには、EU の環境政策に大きな影響力をもつ EEB（欧州環境事務局）があり、約 1,500 万人の声を反映しています。

日本でも NPO 法人の設立が可能になって以降、全国に 5 万余りの NPO 法人が設立され、そのうち約 27% が環境を活動分野にしています。しかしその活動は行政からの助成・委託や呼びかけによるものになっており、「知る・参加する・チェックする」協働の関係になり得ていません。環境政策の中に参加や協働といった観点が盛り込まれつつある中で、知る権利・参加する権利・チェックする権利を確保しながら、環境政策を強化していくためには連合することが必要としました。

●国会議員が次々に登壇！

このシンポジウムについて国会議員に参加を呼びかけたところ、国会会期中のご多忙な中を次々と駆けつけていただきました。

- ①水野賢一 参院議員（無所属）
- ②初鹿明博 衆院議員（維新の党）
- ③島津幸広 衆院議員（日本共産党）
- ④田島一成 衆院議員（民主党）
- ⑤福島瑞穂 参院議員（社民党）
- ⑥福山哲郎 参院議員（民主党）
- ⑦若松謙維 参院議員（公明党）
- ⑧松沢成文 参院議員（次世代の党）
- ⑨篠原 孝 衆院議員（民主党）

また、シンポジウム開催に先立ち、各政党に対して環境政策に関するアンケートも実施しました。政党助成法に基づく政党要件を満たす 11 政党のうち、太陽の党、新党改革をのぞく 9 政党から回答をいただきました。この結果についてはホームページ（準備中）や facebook ページにアップしていく予定です。

●早速、第 1 回幹事会を開催



水野議員



初鹿議員



島津議員



田島議員



福島議員



福山議員



若松議員



松沢議員

シンポジウム終了後、ただちに第 1 回幹事会を開催しました。議題は、①顧問・アドバイザーの委嘱について、②当面の活動について、です。

顧問については、浅岡美恵さん（気候ネットワーク代表）、加藤三郎さん（環境文明 21 共同代表）、山岡義典さん（日本 NPO センター顧問）の 3 名に委嘱するものとし、アドバイザーについては学識経験者などからリストアップすることになりました。

当面の活動では、①市民版環境白書づくり、②国会議員対応、③会員拡大、④環境省との意見交換、⑤WEB およびメールニュースの発信、について議論しました。その結果、①2016 年 6 月発行を目標にコンセプトなどについて幹事会で議論する、②シンポジウムに参加した国会議員を中心に今国会中に話合いの場をもつ、③申込受付体制の整備と関西での交流会開催、④国会議員を通じて行う、⑤担当を決めて進めていく、ことになりました。

会員団体募集中！

グリーン連合では、会員団体および個人サポーター（年会費 1 口 2,000 円以上）を募集中です。たくさんの仲間が加わることで、メリットは大きくなります。ぜひご参加ください。

・団体名、代表者名、ホームページ、住所、電話番号、FAX 番号、担当者名、担当者役職、メールアドレス、直近の財政規模をお書きの上、事務局まで FAX またはメールでお送りください。

グリーン連合事務局 FAX:03・3255・2202 E-mail eff_info@eco-future.net